

(問い)

# おトイレ川柳

～ 支援は水に流さない ～



③グループ発表資料

(問い)  
お ト イ レ 川 柳  
～ 支援は水に流さない ～

発表者

8施設8名

はじめに…

私たちがツールを作成するにあたって、ポイントとしたのは『手軽さ』でした。特別な機会や場所を設定して行うものは、どうしても実行に労力が必要となります。よく出来たものを作れても使われなければ意味がありませんし、そのようなツールを使える施設や事業所ならば、権利擁護に対してもしっかりと取り組んでいるようにも思えます。そのため、さほどの労力を使わずに、しかも参加者が楽しんで出来るものをと考えました。

はじめはゲーム的なものを考えていました。ゲーム感覚で行うことによって、取り組みやすくなると思われたのです。しかし、その内容や対象者、使用するタイミングなどに課題が多く出てしまい、難航してしまいました。

次に考えられたのは、普段から目にするものでした。カレンダーなど、普段から目にするものを作れば、浸透性が期待できると思われたのです。そこから、日に数回必ず行く場所で、あれば意識せずに見てしまうという観点からトイレに設置するアイデアが生まれました。

そこからは今まで出たアイデアの組み合わせとなりました。親しみやすさを出すため、標語のような硬いものにせず、最近の流行にもなっている川柳で権利擁護を表現しました。さらに見た人が、自然と巻き込まれ考えてしまうように空欄(穴あき)を作りました。空欄を埋める言葉は人それぞれになり、その言葉によって自分の支援やご利用者に対する考えなどが、鏡のように自分で振り返ることができる考えたのです。

このツールによって、経験や慣れによって、見過ごしがちなものに気が付いて頂ければと思います。

ツール： お<sup>(問い)</sup>トイレ川柳

対象： 横浜市内の障害福祉機関、事業所の職員全体

目的： 障害福祉関係機関や事業所、従事者の権利擁護に対する気付きや導き、またその意識の向上を目的とします。

根拠： 普段立ち止まることない支援の中で、振り返ったり立ち止まって気持ちを一度落ち着かせる場所を考慮し、トイレという場所に注目しました。この川柳をトイレに掲示することで何気なく目に入り、自然に権利擁護について考える機会となり、また単純に楽しんでもらうことも出来ます。さらに、現場で働く一人ひとりの意識だけではなく、事業所としての意識の向上が期待できると考えたのです。

使用方法： このツールをトイレの目に入りやすい位置にお貼り下さい。排泄時に見える場所をお勧めします。〇〇〇(空欄)の部分には、思った言葉、好きな言葉を自由にあてはめてください。正解などはありません。その言葉が、今のあなた、または今のあなたのいる事業所を象徴(?)します。

継続方法： 初年は広く関心を持って貰えるよう、こちらからツール(文例)を配布しますので掲示してください。2年目以降は、各事業所で「権利擁護」を定着させるためのツールとして利用して頂き定期的に募集をかけ、この川柳の継続性を計っていただきたいと思います。各事業所の広報紙などで川柳の募集をかけてみるのも良いかも知れません。職員の年間行事として使用して頂き、中堅以降の職員の一年を振り返ったり、数ヶ月経過した新人職員の疑問や悩みを解消するための1つの策として考えてもらえればと感じます。

## 《佳作作品一覧》

今回のツールに残念ながら落選した作品ですが、  
この場を借りて発表させていただきます』

当たり前 と思った事が 違います  
会話する あなたを分かる 第一歩  
声掛けを するにも大事 思いやり  
話したい まずは挨拶 「こんにちは」  
注意する その心にも おもいやり  
日頃から 幸せ考え 共にいる  
喜びは 歩幅をあわせ 共にやる  
言われよう 一日一回 「ありがとう」  
趣味ならば やらせてあげよう 考えよう  
利用者と 話をしましょう 聞きましょう  
「何故だろう」 考える事 忘れずに  
「そうだよね」 否定の前に 受け止めよう  
「やりたい」と 思う気持ちを 大切に  
喜怒哀楽 どれもがあって 当たり前  
その行動 意味があるはず 考えよう  
信頼を 得てこそ出来る この仕事  
見直そう 自分の仕事を もう一度  
気をつけて 命預かる 仕事です  
ねえ聞いて 私はもっと 話したい  
仕事で なんでもいつも そう言うの  
利用者の 笑顔をもっと 見たいから  
この仕事 好きでやってる はずなのに  
計画を 立てるの良いが 僕知らず  
決めないで 私の気持ちを 決めないで  
落ち着いて 一度流そう 悩み事  
一日の 終わりに思う あの場面  
この仕事 大切なのは 思いやり  
勘違い 親しみ易さと 馴れ馴れしさ  
しばし待て！ 発する前に 一呼吸  
できること 増えたらいいな 程度区分  
なにがなの 福祉えらいと 話す人  
権利主張 するのはなぜか 職員さん  
利用者の 個性知らずに ケアプラン  
ケアプラン ばくは何も 聞いてない

利用者は あなたの部下じゃ ありません  
施設長 私の名前 言ってみて？  
報告書 作った直した 葬った  
通所先 選択肢意く 措置同様  
担当者 代われば一から やり直し  
よく出来た 褒める気持ちをも 忘れない  
何したい 言った責任 する工夫  
忙しい そんな基準は 自己評価  
1つだけ 新しい事 する努力  
向上は 1日1つ 新情報  
権利主張 水に流さず 現実へ  
おトイレで 一息ついて 切り替えて  
分かってよ 自用は急に 止まらない  
鏡見て 笑顔で現場に 戻りましょう  
「後にして」 言ってる事を 後にして  
「こうしよう」 継続なしで その場だけ  
一日の 終わりに思う あの場面  
「さあいこう」 言うだけ簡単 地域移行  
自分だけ 悩み溜め込み 腹痛い  
未消化が 後々自分 苦しめる  
「またやった」 その一言を また言った  
出来ないで 決めてかかって 根拠なし  
利用者の 笑顔が出るの 当たり前  
鏡見る 受け入れ笑顔 出し流り？  
悩み事 他者に出し切り 軽くなる  
出し切って すっきり笑顔で 前を観る  
利用者は 職員映す 鏡です

以上佳作6 1 作品

(問い)

# おトイし川柳

～支援は水に流さない～

- 一、今やろう！ 明日やろうは バカやろう！！
- 二、口動く 後は動かぬ 人任せ
- 三、〇〇〇〇〇 誰の定規で 測ったの？
- 四、出来ること 増えても秘密 区分ら
- 五、経験が 長い人ほど 〇〇〇〇〇
- 六、見学者 帰るといふもの 我が施設
- 七、「権利擁護」 聞いた事ある 〇〇〇〇〇
- 八、伝えたい あなたの気持ちを  
アドボカシー
- 九、一歩前 狙いさだめて はずみずに
- 十、反省を 明日の自分へ 伝えよう

わたしたちは全ての事業所において利用者一人ひとりの人権が尊重され、利用者を主人公とした福祉サービスが提供されることを願っています。